



©2005 石塚真一/小学館

第 254 号(令和4年(2022 年)3月 10 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

雪崩にご注意を！

～県内でも遭難事案発生～

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

雪崩情報 https://nadare.jp/avalanche_informations

を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

2 月 4 週は 2 件の山岳遭難が発生しました。県内は北部を中心に、積雪量が非常に多い状態が続いています。今後の気温上昇などによっては、雪崩の危険性が一層高まるため、十分な下調べや雪崩対策装備の携行が必要です。登山やバックカントリーエリアは、管理された場所ではないため、常に危険と隣り合わせである認識を持ちましょう。入山前には、ルートや気象情報、積雪状況について下調べを行うとともに、滑落や雪崩を回避する技術や知識、装備品を携行するほか、アクシデントに見舞われた際の対応要領についても確認しておきましょう。また、コロナ禍であることに留意し、感染防止対策を徹底しましょう。

3 月 1 週は 2 件の山岳遭難が発生しました。バックカントリー中の行方不明遭難が 1 件発生し、現在も捜索活動をしています。自然の山中を滑走するバックカントリーは、雪崩、道迷い、崖等への転落、立木等への衝突など様々なリスクが存在します。バックカントリーでは、スキーやスノーボードの滑走技術以外に、登山のスキルや緊急時の対処能力が必要になります。これからバックカントリースキーやスノーボードを予定している方は、今一度、自身の準備や計画、スキルを客観的に見直し、無理のない安全な行動を心がけてください。

発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
2 月 23 日	八ヶ岳連峰 赤岳	43	男	滑落	負傷	単独で地蔵尾根を下山中、道に迷い、滑落、負傷。

23日、単独で八ヶ岳連峰赤岳に入山した男性(43歳)が、下山中に滑落して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して男性を救助しました。



2月26日	八ヶ岳連峰 柳川付近	74	男	その他	負傷	3人パーティでアイスクライミング中、落水を受けた後、壁氷に身体を打ちつけ、負傷。
-------	---------------	----	---	-----	----	--

26日、八ヶ岳連峰柳川付近でアイスクライミングをしていた男性(74歳)が、崩落した氷塊が身体に当たり、体勢を崩して氷壁に身体を打ち付けて負傷し行動不能となる山岳遭難が発生し、諏訪広域消防本部消防署員、茅野警察署山岳遭難救助隊員及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動し、男性を救助しました。

3月4日	八ヶ岳連峰 阿弥陀岳	50	男	転落	負傷	単独で南沢大滝をアイスクライミング中、バランスを崩し、転落、負傷
------	---------------	----	---	----	----	----------------------------------

4日、単独で八ヶ岳連峰阿弥陀岳に入山した男性(50歳)がアイスクライミング中に転落して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して男性を救助しました。



3月5日	毛無山	30	女	不明	行方不明	4人パーティでバックカントリーを滑走中、仲間とはぐれ、行方不明
------	-----	----	---	----	------	---------------------------------

5日、下高井郡野沢温泉村の毛無山において、知人3名とバックカントリーでスノーボードをしていた女性(30歳)が行方不明となり、飯山警察署員、志賀高原地区遭対協野沢温泉班隊員が捜索活動を行っています。

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～3月6日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	23	2	2	9	16	29	13
内)BC	7	0	2	1	6	9	3
令和3年(2021年)	20	3	0	11	9	23	14
前年同期比	+3	-1	+2	-2	+7	+6	-1
内)BC	-1	-1	+2	-3	+1	-1	-2

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～3月6日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北アルプス	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	4	17.4%	0	1	1	5
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
	計	4	17.4%	0	1	1	5
中央アルプス	4	17.4%	0	0	1	3	4
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	8	34.8%	1	0	5	4	10
その他の山岳	7	30.4%	1	1	2	4	8
計	23		2	2	9	16	29

■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～3月6日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	7	30.4%	1	0	6	0	7
転倒	1	4.3%	0	0	1	0	1
病気	1	4.3%	0	0	0	1	1
道迷い	6	26.1%	0	0	0	10	10
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	1	4.3%	0	1	0	0	1
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	1	4.3%	1	0	0	2	3
不明・他	6	26.1%	0	1	2	3	6
計	23		2	2	9	16	29

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～3月6日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	5 21.7%	0	0	0	0	0	4 66.7%	0	9 31.0%
20代	0	0	0	4	4		0	0	0	2	2		6	
30代	0	0	0	1	1		0	0	1	0	2		3	
40代	0	1	3	4	8	12 52.2%	0	1	1	0	1	1 16.7%	9	13 44.8%
50代	1	0	2	1	4		0	0	0	0	0		4	
60代	0	0	1	2	3	6 26.1%	0	0	0	0	0	1 16.7%	3	7 24.1%
70以上	0	0	1	2	3		1	0	0	0	1		4	
計	1	1	7	14	23		1	1	2	2	6		29	
比率	79.3%						20.7%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝